

Auto Lube CVTF

金属ベルトタイプCVT専用フルード

Continuously Variable Transmission Fluid

●オートルブCVTF

- 一般のATはプランタリーギヤにより変換を行うのに対し、CVTは油圧によって自在に溝幅を変化させることが可能な一對のプーリーと金属ベルトにより変速を行います。変速時はプーリー幅を加減することにより、無段階変速が可能になるのです。
- CVTは無断変速装置の呼称ですが、一般にCVTといえば、金属ベルトと可変プーリーを組み合わせた変速機構を指します。出力軸、入力軸にそれぞれつながった2つの可変プーリーには、伸びや異音を発生させないような形状で精密に組み合わせており、しかも構成する金属ベルトが強く巻き付いています。
- CVTは特に高速・高荷重状態になります。従って、通常のATフルードでは金属間の摩擦係数が小さいため、金属ベルトとプーリー間ですべりを生じ、本来の性能を損なったり、異音を発生させる結果となってしまいます。
オートルブCVTFはCVTメーカーの審査にもクリアしたCVT専用フルードです。

●特長

- 1 金属ベルトタイプCVT車専用のフルードです。
- 2 一般のATフルードに比べ金属摩擦係数が高く、金属ベルト、プーリーの摺動磨耗を防ぎます。
- 3 ロックアップクラッチのシャダー防止にも優れています。
- 4 高排気量の車輻にも十分なトルク伝達を確保します。
- 5 最適な摩擦係数を有し、スムーズなリア変速を行い快適なドライブフィーリングが得られます。
- 6 金属ベルトの滑りによる異音発生を低減させます。
- 7 熱安定性、酸化安定性に優れ、長期間安定した性能を発揮します。

※CVT専用フルードであり、一般のAT車には使用できません。

●代表性状

項目	代表値
密度(15℃)	(g/cm ³) 0.850
引火点(COC)	℃ 200
色相	緑色系
動粘度(40℃)	mm ² /s 33.26
(100℃)	mm ² /s 7.036
低粘度(-40℃)	mPa·s 8.440
粘度指数	181
流動点	℃ -50以下
全酸価	mgKOH/g 0.88
全塩基価(HCL)	mgKOH/g 1.13
金属間摩擦係数 LFW1 250Lbf 0.25m/s	0.136

